



十文字西 公民館だより

■令和4年度-11号
令和5年2月1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一丁目330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター長
(兼) 公民館長 近 孝夫



時の過ぎ去ることは早く、今年も1カ月が過ぎました。十文字西地区の皆様、如何お過ごしでしょうか。「コロナ禍での生活」や「ロシア・ウクライナ戦争が影響する原油等の物価高騰」から早く脱皮し、今年こそ平和で安全な生活を取り戻したいものですね。

ところで、日本の2月(如月:きさらぎ)はどんな月でしょうか、歳時記によると旧暦では1年の始まりとされていたのが2月。そのため、お清めの意味をもつ「豆まき」という風習が生まれました。その他の行事として「事八日」「初午」「バレンタイン」等ありますが、今回はその3つを詳しく紹介します。

●事八日(ことようか).....

12月8日と2月8日を事八日といい、催事や農事を納めたり始めたりする節目の日のことです。地域によっては無病息災を願い、芋、大根、小豆、にんじん、こんにゃく、ごぼう等、野菜たっぷりの味噌汁「お事汁」を頂きます。

●初午(はつうま).....

初午は2月最初の午の日。この日は稲荷神社のお祭りが行われ、全国各地の稲荷神社で豊作、商売繁盛、開運、家内安全を祈願します。今年の初午は2月5日(日)です。
※午の日:十二支の順で日付をあらわした場合「午」にあたる日です。

●バレンタイン.....

キリスト教の聖人である聖バレンタインが、当時、兵士に禁じられていた恋愛や結婚を許したため殉教した2月14日にちなんだ愛の記念日。ヨーロッパでは思いを伝えるために男女がメッセージカードや花束をお互いに贈りあう日として定着しました。



～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆心に響く「論語」より

「子曰く、利に放りて行えば、怨み多し」

《意味》 自分の利益だけを優先し行動していると、人に恨みを買う。裕福になっても驕り高ぶったり、人としての「恥」を忘れてはいけない。「恥」の心を持たずに利益だけを追求しては、いつか人に嫌われ、恨みを買ってしまうのです。

冬休み子ども教室 1/10(火)~1/13(金) 西地区館にて

今冬は13人の子どもたちが参加し、レクリエーションスポーツのスカットボール、十文字和紙を使った干支のウサギの置物作り、保呂羽山自然の家の出前授業では工作とゲーム、楽しい理科教室では空飛び円盤を作ったりと、豊富なメニューで仲よく楽しい時間を過ごしました。



子ども食堂 1/22(日)11時~ 西地区館にて

当地区で初めて行われた子ども食堂。当日はスポ少メンバーや地域住民等多世代が集い、美味しいご飯を食べながら和やかに交流しました。これからも地域の集いの場として続いていけば良いですね。



●節分と立春... 季節の変わり目を意味する節分。昔は立春は1年の始まりで正月、節分は大みそかのように考えられていました。病気は全て鬼の仕業と考えられていたため、鬼退治の効果があるという豆まきが始まったようです。悪疫を追い払って、清々しい心で春を迎えたいですね。(事務局)

